

IV. 平成30年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	ジェロントロジー・スポーツ – オトナのスポーツの楽しみ方を探る – (Gerontology of Sport: Introduction to "Sports for Life")		
単位数	2	授業形態	講義・フィールドワーク
担当教員	彦次 佳、辰巳 信平(ゲストスピーカー)、谷所 慶(ゲストスピーカー)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月22日(金) 18:30~20:50	(担当:彦次)	
	第2回 6月23日(土) 10:00~16:00	(担当:彦次)	
	第3回 6月29日(金) 18:30~20:50	(担当:彦次)	
	第4回 6月30日(土) 10:00~16:00	(担当:彦次)	
	第5回 8月3日(金) 18:30~20:50	(担当:彦次、辰巳 [ゲスト]、谷所 [ゲスト])	
	第6回 8月4日(土) 10:00~16:00	(担当:彦次、辰巳 [ゲスト]、谷所 [ゲスト])	

【授業のねらい・概要】

本講義では主に、成人期以降のスポーツの多様な楽しみ方について紹介し、①オトナになったからこそできるスポーツの楽しみ方、オトナになったからこそ広がるスポーツ文化について共に考えていく。その上で、②オトナのスポーツを振興する意義とその方法について、スポーツ・プロモーションの理論を紹介し、さらに、実際に実践の場やプログラムに入り込み、それらの活動の成果・効果としての“オトナがスポーツを楽しむ”姿や楽しみ方そのものに触れることも目的とする。そして、これらの活動を通して、③歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について皆で議論することを本講義の最終的な目標とする。

【授業計画】

第1回～第2回 『オトナのスポーツの楽しみ方 3類型』 (担当:彦次)

オトナのスポーツの楽しみ方について、健康づくり・体力づくりを主な活動目的とする運動・スポーツ実施(ヘルス・スポーツ)、余暇充足・趣味としての楽しさを満喫することを主な活動目的とするスポーツ実施(レジャー・スポーツ)、技を磨き競うというスポーツの本質的な楽しさに挑戦することを主な活動目的とするスポーツ実施(マスターズ・スポーツ)を紹介し、それらの基本的な知識と考え方を学習し、また、それらの活動によってどのような便益がもたらされるのかを学習する。

第3回～第4回 『オトナのスポーツ・プロモーション』 (担当:彦次)

運動・スポーツ活動のプロモーションガイドラインを中心とした国内外の運動・スポーツ政策情報のレビューにより明らかになった、運動・スポーツ活動の推進事業を効果的に行なうために共通して重要視されている振興概念や推進指標を紹介し、オトナのスポーツ・プロモーションの方法について理解を深める。また、実際にその事例として、実践の場(スポーツイベント)に入り込み、オトナがスポーツを楽しむ姿を調査・観察する。

第5回～第6回 『オトナのスポーツ・フィールドワーク』 (担当:彦次、ゲスト:辰巳、谷所)

第1回目から第4回目までを踏まえ、オトナになったからこそできるスポーツの楽しみ方とオトナのためのスポーツ・プログラムを、実際に自分たちで企画し、実践する(安全面への配慮から、企画・計画の半分ほどはこちらで提示する)。具体的には、熊野サテライト周辺のすばらしい自然を知り、満喫するシーカヤクトリップを実施する^(※1)。第6回目の最後には、歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義とその可能性について、第1回～第4回までと、第5回・第6回の実践活動を通して、皆で意見交換を行なう。注1:荒天の際は日程を延期するなど、変更が生じる場合があります

【到達目標】

本講義の到達目標は、成人期以降の多様なスポーツの楽しみ方とそのプロモーション方法について理解を深めること、また、歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について皆で議論することとする。

【教科書】

特に定めません。適宜、資料を配布します。

【参考書】

- ・「ジェロントロジースポーツー成熟人生を“好く”生きる人のためのスポーツライフ」
(長ヶ原 誠, ジェロントロジースポーツ研究所:2007)
- ・『健康スポーツ学概論ープロモーション、ジェロントロジー、コーチング』(山羽 教文, 杏林書院:2013)

【成績評価方法】

議論への参加状況(40%)、小レポート(30%)、最終レポート(30%)など総合的に評価します。(評価責任者:彦次)

【授業時間外学習】

本講義を通して普段何気なく見ているスポーツの現象などに対して、これまでより注意深く見る目を持ち、その現象がどのように発生しているのかなどを考えることを、本講義の時間外学習として位置付けます。

【履修上の注意・メッセージ】

第1回目の講義の際にアナウンス・相談する。